

普及活動情勢報告（令和元年8月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

「洋ラン」輸出検討会 ～高知の美しい花きを世界へ届けませんか～	
 熱心に話を聞く洋ラン生産者	8月1日、県及びJA高知県グループが組織する新需要開拓マーケティング協議会事業の一環として、東京の花き市場の(株)FAJが「洋ラン」輸出検討会を開催しました。 農業改良普及課は、管内の輸出に取り組む洋ラン生産者の「花き輸出拡大への意識を広めること」を協議会の活動に反映させるため、今回の検討会に参加・コーディネートしました。輸出に関して市場と直接意見を交換することができ、生産者の輸出に対する前向きな姿勢を確認することができました。 農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し、輸出を考える生産者の支援をしていきます。
新規生産者を対象とした穂肥勉強会を開催 ～酒米「吟の夢」の品質向上に向けて～	
 穂肥時期と水管理について説明	8月8日、「土佐市吟の夢栽培技術研究会」の新規生産者6人を対象に穂肥勉強会を開催しました。 農業改良普及課は、現地で「吟の夢」の穂肥適期の判定方法や水管理などの注意点について説明しました。 新規栽培者の方々は、直接品質に関わることから、「穂肥の量はどれくらい？、水管理はいつどうしたらいい？」など非常に興味を持って、積極的に質問をしていました。 農業改良普及課では、今後も新規栽培者の栽培技術向上を目的に、先進地視察研修(10月頃を予定)を企画するなど引き続き支援していきます。
土佐アグリレディース・伊野地区生改G連絡協議会合同視察研修 ～新しい農産物加工品開発のヒントを得るために～	
 真剣な顔でキムチを作る参加者	8月7日、2つの女性グループ員14人が参加し、合同視察研修を行いました。 農業改良普及課は、本年度幹事の土佐アグリレディース役員会で視察先候補を提案し、協議の結果チムジルバン鷹取(構原町)でのキムチ作り研修が実施されました。当日は「唐辛子の粉末はどこで手に入れるのか？レシピは教えてもらえないか？」等活発な質疑が行われ有意義な研修となりました。 農業改良普及課は、今後も女性グループの活動促進のために支援していきます。
市町村合同就農相談会 ～農業にチャレンジしてみませんか～	
 熱心に話を聞く相談者	8月14日、高知市内の商業施設において、高知市主催の市町村合同就農相談会が開催されました。当日はお盆での帰省客らを対象に、県産野菜を使ったベジブーケ制作体験やトークショーが同時開催されるなど、農業に対して親しみが持てるような工夫を凝らしていました。 農業改良普及課が支援した土佐市のブースには33人、いの町には16人が相談に訪れ、同市町の農業や就農についての説明に、熱心に耳を傾けていました。 農業改良普及課では、今後とも関係機関と連携し、担い手の確保・育成に取り組んでいきます。

